

研修医による精神科研修の評価に関する報告書

精神科七者懇談会*

卒後研修問題委員会**

委員長 小島 卓也

アンケート実行責任者 中嶋 義文

1 目的

新卒後臨床研修制度における精神科研修の効果評価を研修終了した平成 16 年度初期研修医によって行うことを目標とした。

2 対象と方法

以下の二つのアンケートを研修指定病院に在勤中の平成 16 年度初期研修医（平成 18 年度に研修開始した後期研修医）に対して配布、回収した。

1) 基本研修アンケート

臨床研修の到達目標に行動目標として掲げられている（1）患者-医師関係、（2）チーム医療、（3）問題対処能力、（4）安全管理、（5）症例提示、（6）医療の社会性の 6 項目に加え経験目標である（7）医療面接を加えた基本研修七項目について、「もっともよく学べた」「比較的よく学べた」科を内科、外科、救急、産婦人科、小児科、精神科、地域医療の中から選択させた。

2) 精神科研修アンケート

精神科研修の目標 22 項目について「そうだ」「大体そうだ」「どちらかでいえばそうだ」「どちらかといえばそうでない」「ほとんどそうでない」「そうでない」の 6 件法で選択させた。精神科研修の有用度、満足度についても評価させ、それにかんするフリーコメントを記入させた。

3 結果

1) 基本研修アンケート

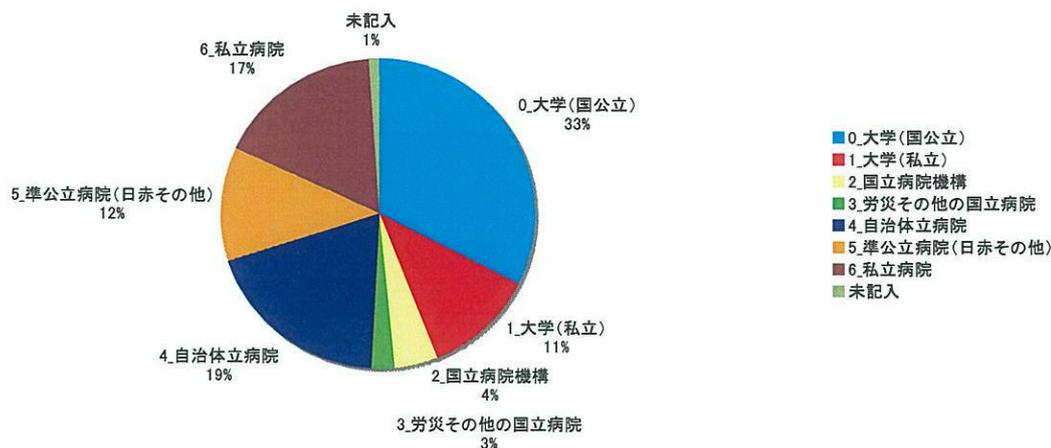
817 の研修指定病院あてに 9495 通を発送し、399 通を回収した。そのうち無効 3 名をのぞいた 396 名を対象とした。これは、厚生労働省発表の平成 16 年度初期研修医 7372 名の 5.4%にあたる。

(1) 回答者属性

(ア) 初期研修先について

初期研修先は大学病院 44%、臨床研修病院 55%であった。

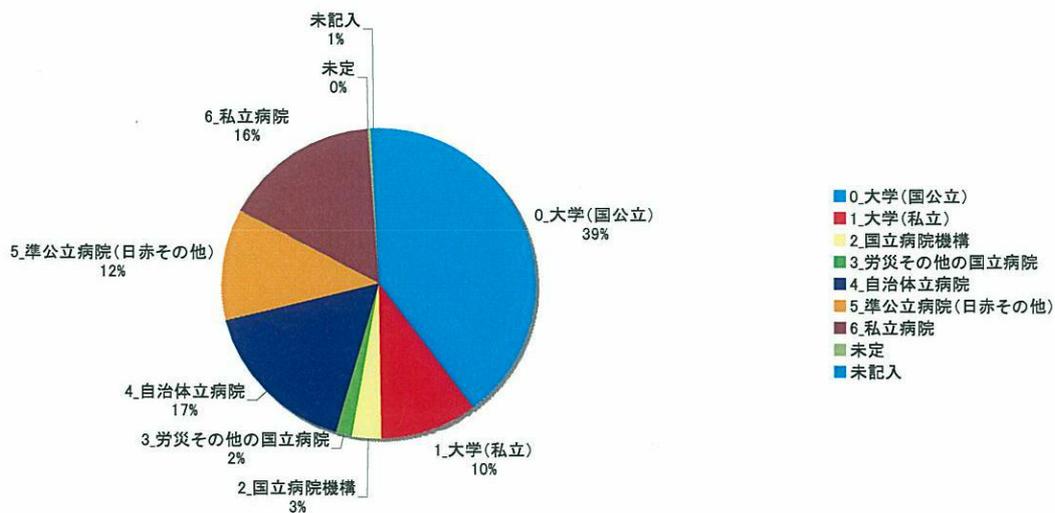
初期研修先の病院の種類(%)N=419(複数選択)



(イ) 現在の後期研修先について

現在の後期研修先は大学 49.7%であった。

現在の後期研修先(%)n=396



(ウ) 現在の専攻科について

後期研修専攻科の分布は厚生労働省発表の平成17年度「臨床研修に関する調査」による希望する診療科の分布とほぼ一致する。

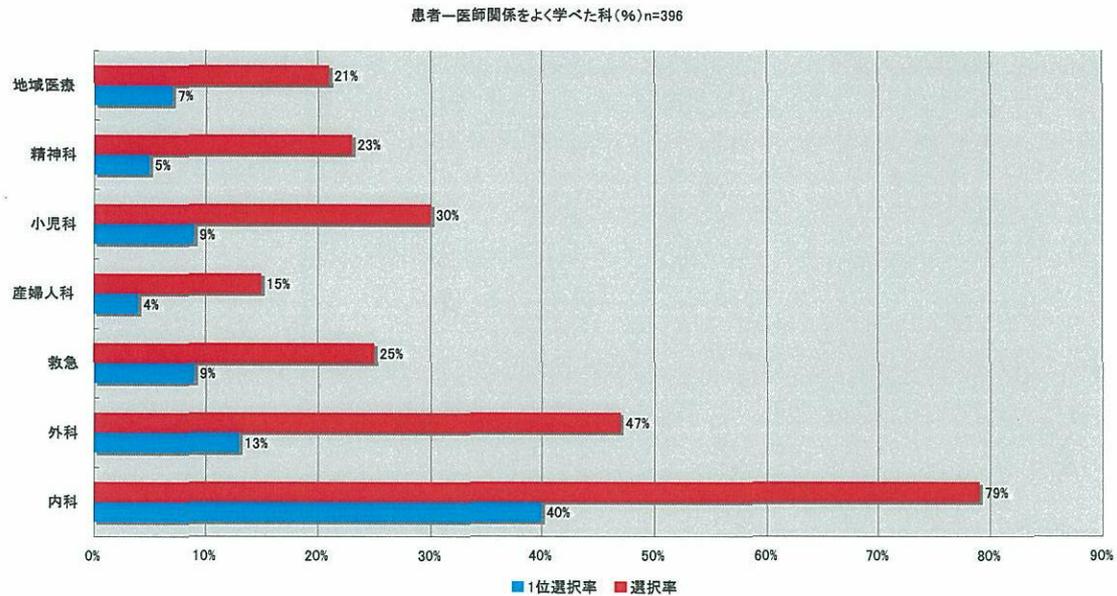
			参考 (*)
内科(血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、老年科含む)	76	19.2%	14.6%
外科(消化器外科含む)	30	7.6%	8.9%
小児科	34	8.6%	7.5%
消化器科	22	5.6%	6.6%
整形外科	21	5.3%	6.5%
循環器科	15	3.8%	6.3%
麻酔科	18	4.5%	5.8%
産婦人科	12	3.0%	4.9%
精神科	22	5.6%	4.3%
眼科	13	3.3%	4.0%
皮膚科	13	3.3%	4.0%
放射線科	18	4.5%	3.0%
呼吸器科	9	2.3%	2.8%
泌尿器科	11	2.8%	2.6%
耳鼻咽喉科	11	2.8%	2.5%
形成外科	9	2.3%	2.2%
救命救急	13	3.3%	2.1%
神経内科	6	1.5%	1.9%
脳神経外科	10	2.5%	1.7%
心臓血管外科	10	2.5%	1.4%
総合診療科	3	0.8%	0.8%
小児外科	1	0.3%	0.5%
呼吸器外科	1	0.3%	0.5%
病理	4	1.0%	0.5%
心療内科	2	0.5%	0.2%
リウマチ科	2	0.5%	0.1%
家庭医学	2	0.5%	-
産業医学	1	0.3%	-
未定	2	0.5%	-
未記入	5	1.3%	-

n=396

* 厚生労働省 平成17年度「臨床研修に関する調査」希望する診療科

(2) 患者-医師関係

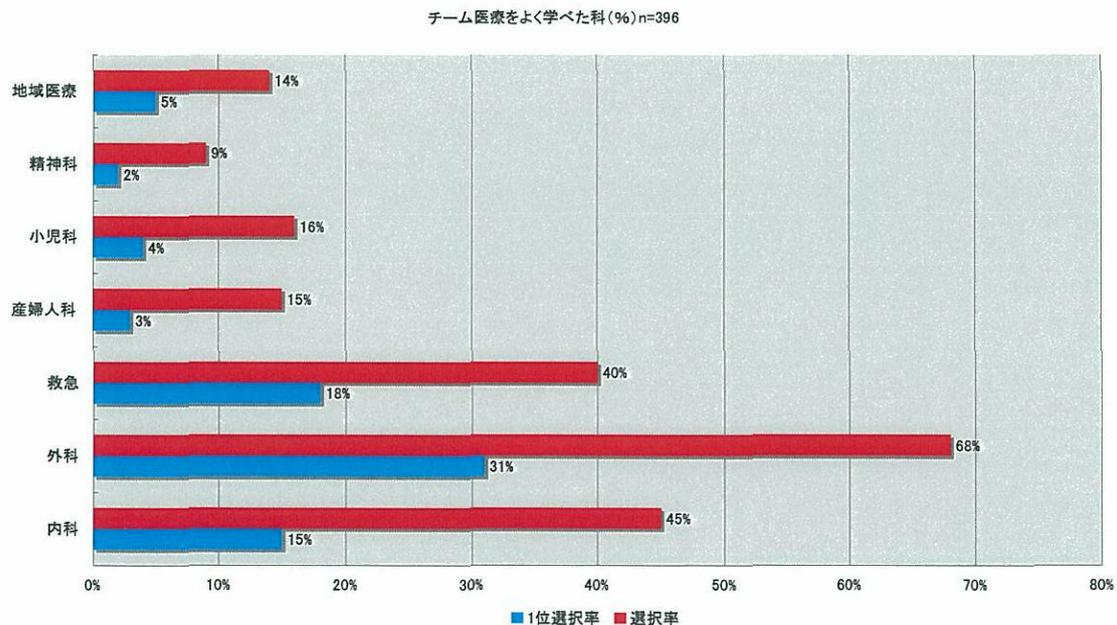
「もっともよく学べた」(1位選択)と「比較的良好に学べた」を選んだものの研修医における割合を選択率とした。患者-医師関係をよく学べたとした割合は内科でもっとも高かった(79%)。チーム医療の項目を除いた6項目で内科の選択率が高かったのは、研修期間の長さによる。精神科の選択率は23%であった。



(3) チーム医療

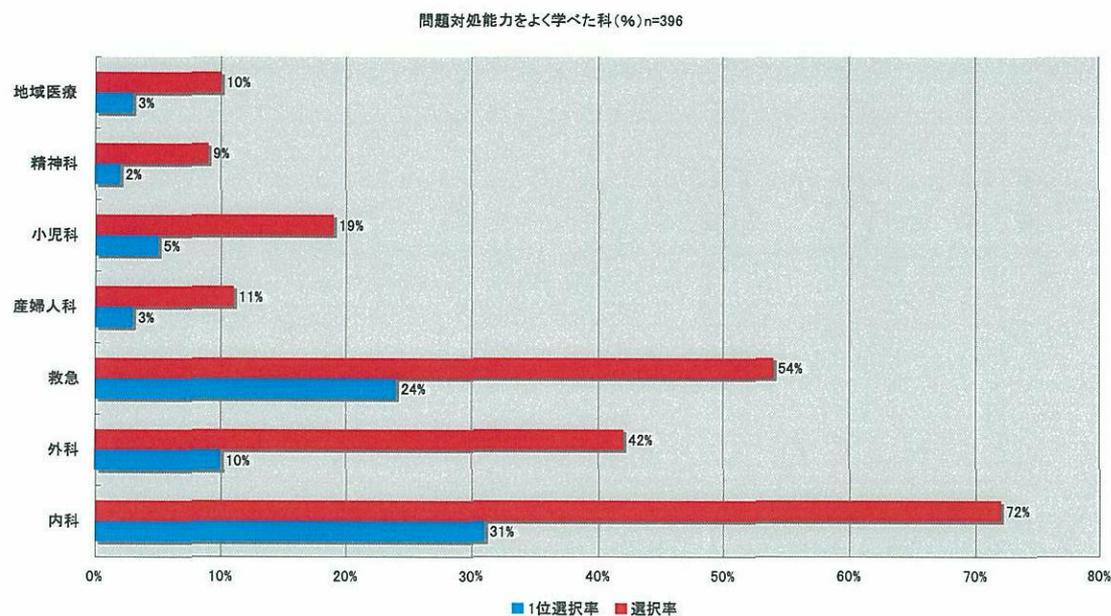
外科においてチーム医療をよく学べたとしたものが多かった(68%)。

精神科においては9%と低く、これは精神科医療におけるチーム医療の取り組みが理解されていないことを示す。



(4) 問題対処能力

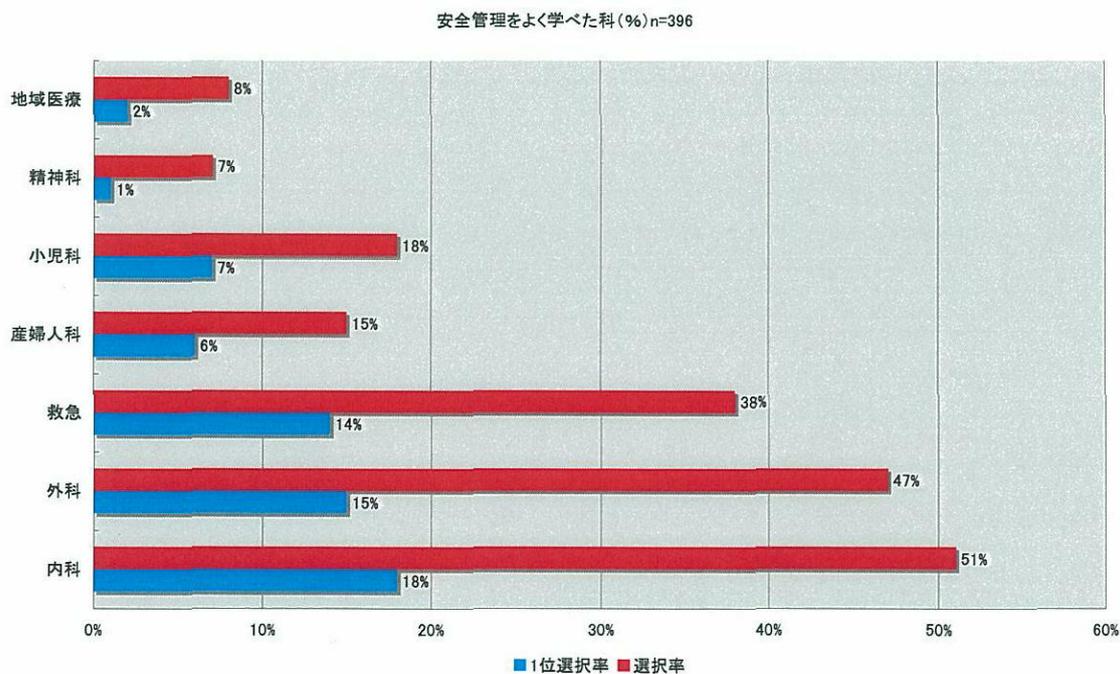
内科において問題対処能力をよく学べたとしたものが多かった (72%)。救急 (54%)、外科 (42%) がそれに続く。精神科においては9%であった。



(5) 安全管理

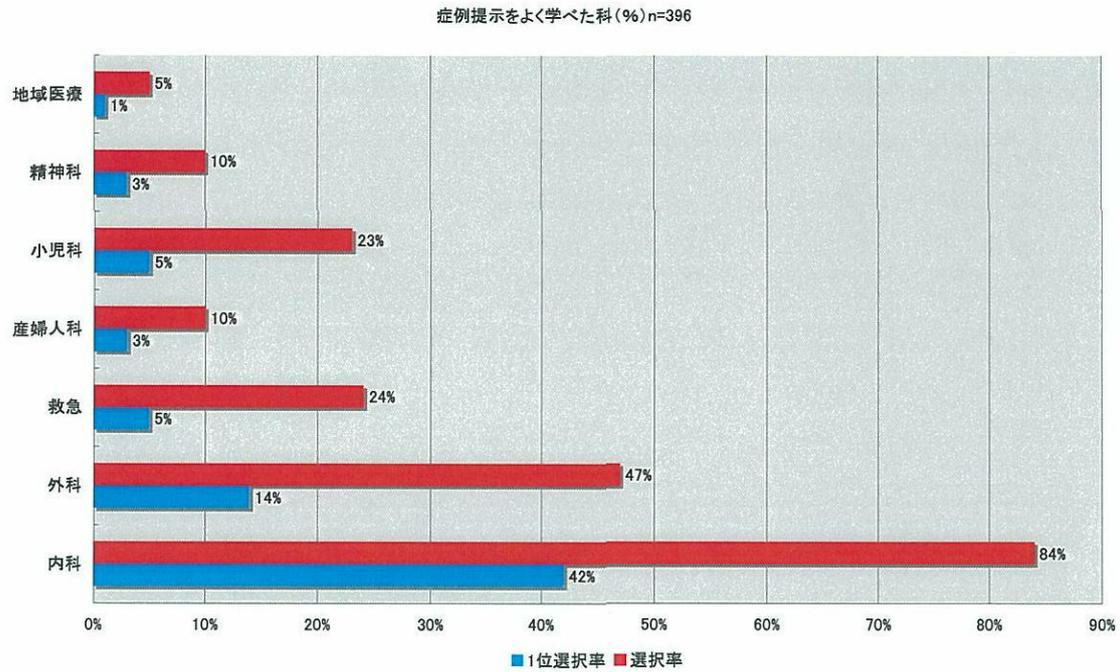
内科において安全管理をよく学べたとしたものが多かった (51%)。救急 (47%)、外科 (38%) がそれに続く。

精神科においては7%と低く、これは精神科医療における安全管理の取り組みが理解されていないことを示す。



(6) 症例提示

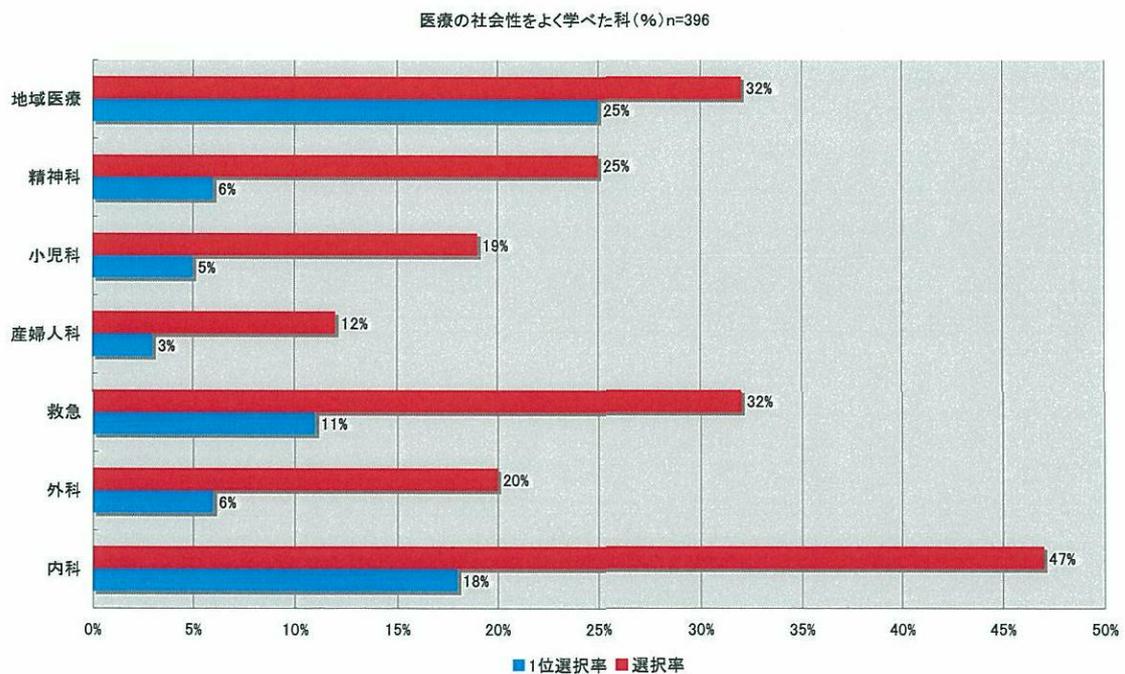
内科において症例提示をよく学べたとしたものが多かった (84%)。精神科は10%であった。



(7) 医療の社会性

内科で医療の社会性についてよく学べたとするものが多かった (47%) が、もっともよく学べたとするものは地域医療で高かった (選択率 32%、1 位選択率 25%)。

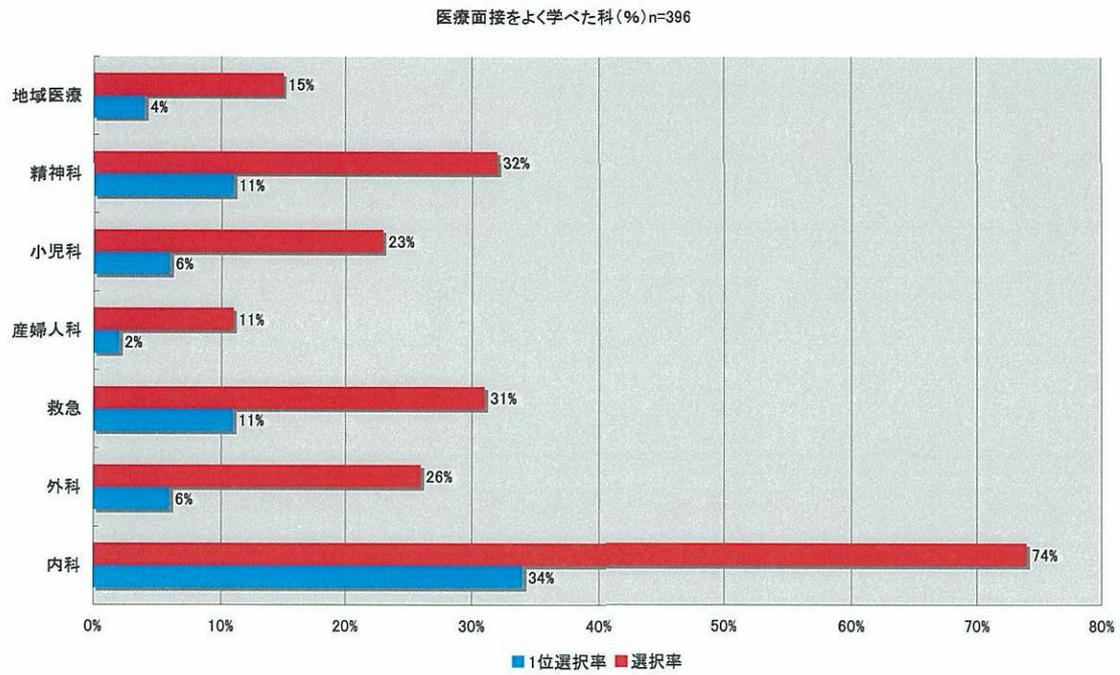
精神科は地域医療 (32%)、救急 (32%) についてよく学べたとするものが多かった (25%)。



(8) 医療面接

内科でよく学べたとするものが多かった (74%)。

精神科はついでよく学べたとするものが多かった (32%)。



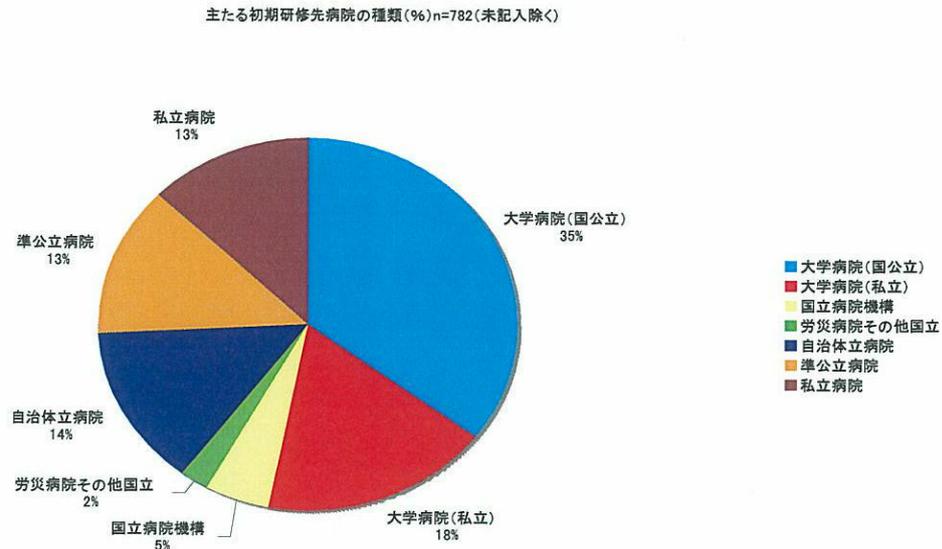
2) 精神科研修アンケート

327 の研修指定病院あてに 6053 通を発送し、802 通を回収した。802 名を対象とした。これは、厚生労働省発表の平成 16 年度初期研修医 7372 名の 10.9%にあたる。

(1) 回答者属性

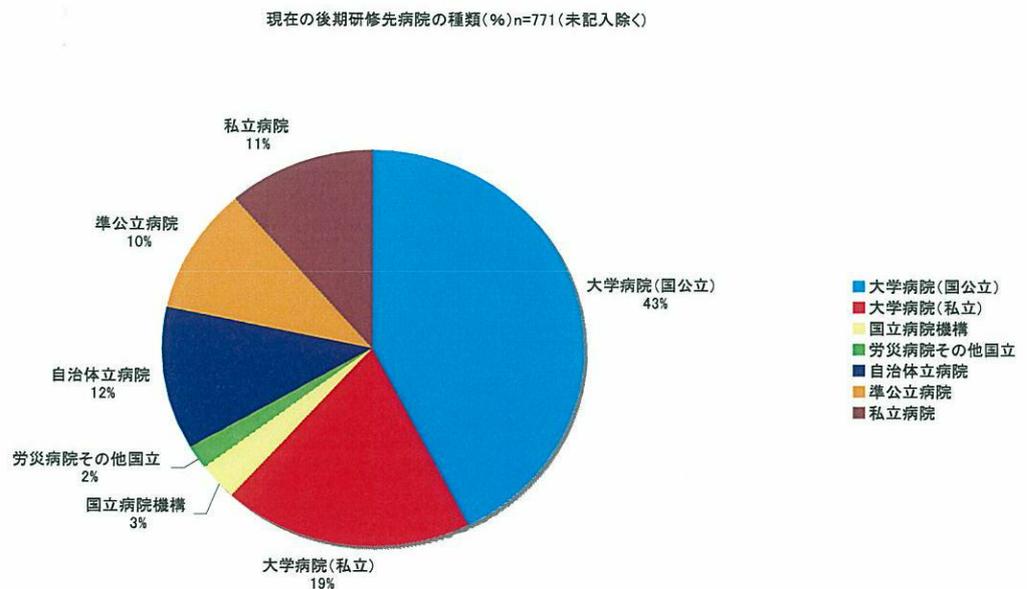
(ア) 主たる初期研修先について

主たる初期研修先は大学病院 53%、臨床研修病院 47%であった。



(イ) 現在の後期研修先

現在の後期研修先は大学が 51%であった。

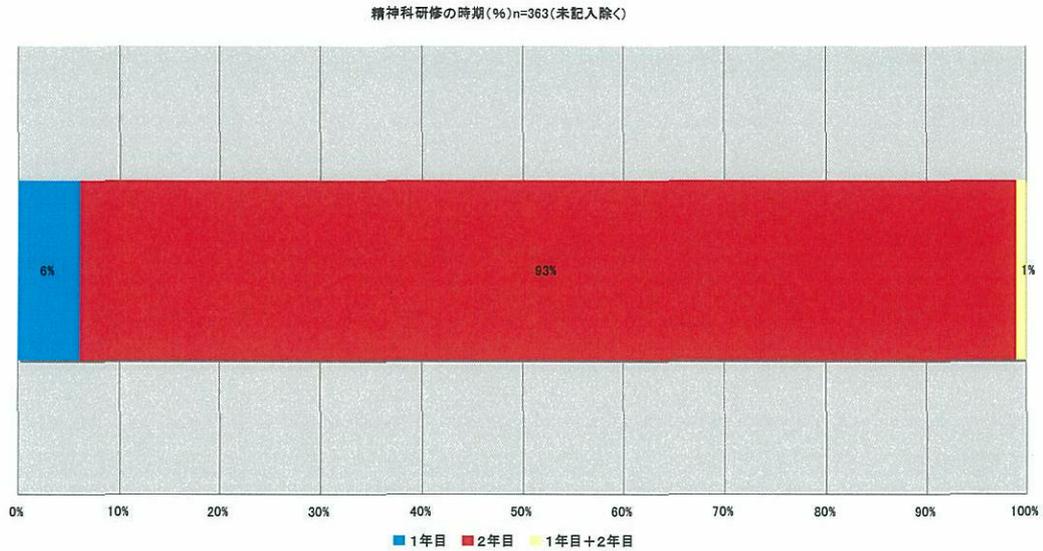


(2) 精神科研修の実際

(ア) 精神科研修の時期

ほとんどが2年目におこなわれていた(93%)。

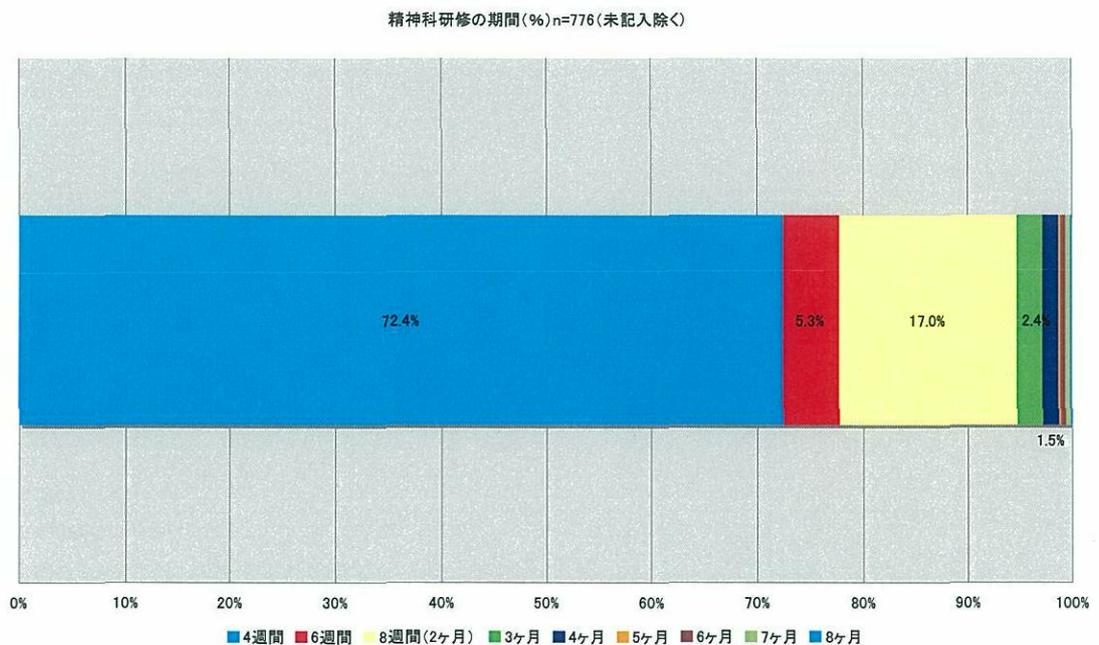
6%が1年目におこなわれており、わずかながら1年目と2年目の2回行った者もいた(1%)。



(イ) 精神科研修の期間

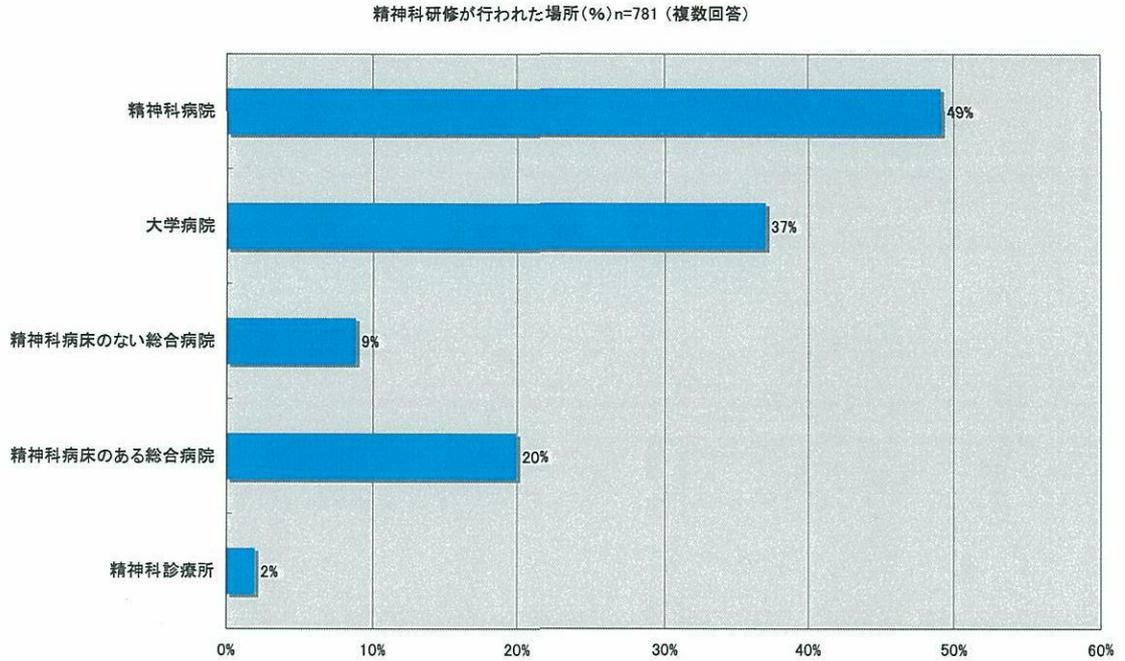
精神科研修の期間はほとんどが4週間(1ヶ月)(72.4%)であった。

6週間ないし2ヶ月研修する者が22.3%、3ヶ月以上8ヶ月までの長期研修するものも5.3%あった。



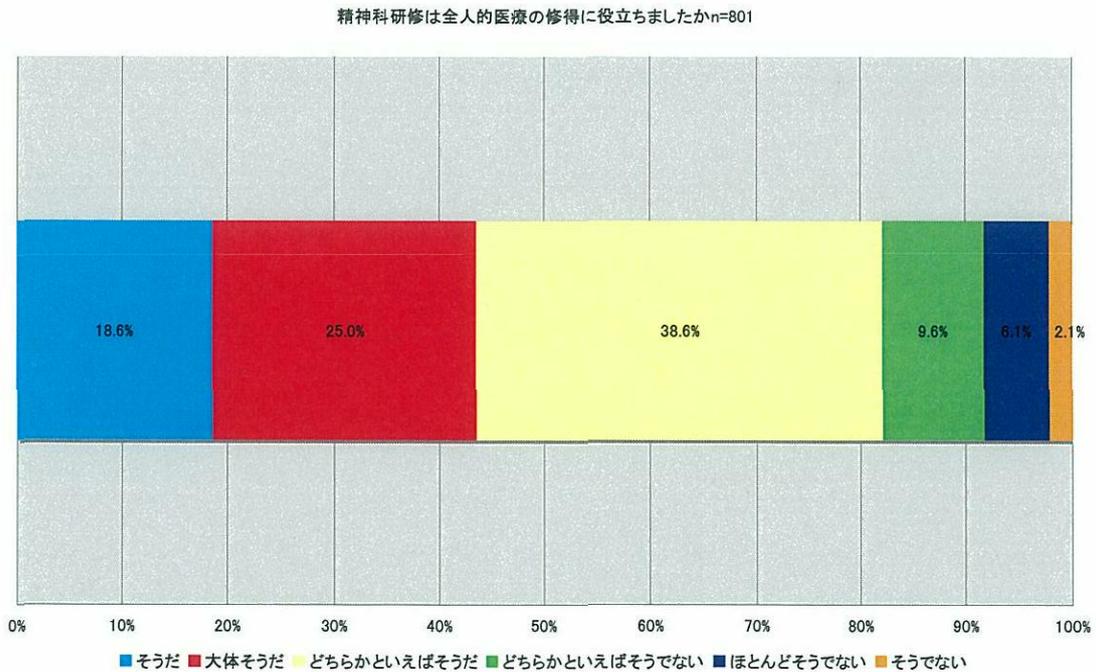
(ウ) 精神科研修の場所

研修の半数（49%）は精神科病院で精神科研修を行っていた。大学病院を含む総合病院で研修を経験するものはおよそ全体の 2/3 であった。精神科診療所で研修を経験する者は 2% であった。



(3) 全人的医療の修得への効果

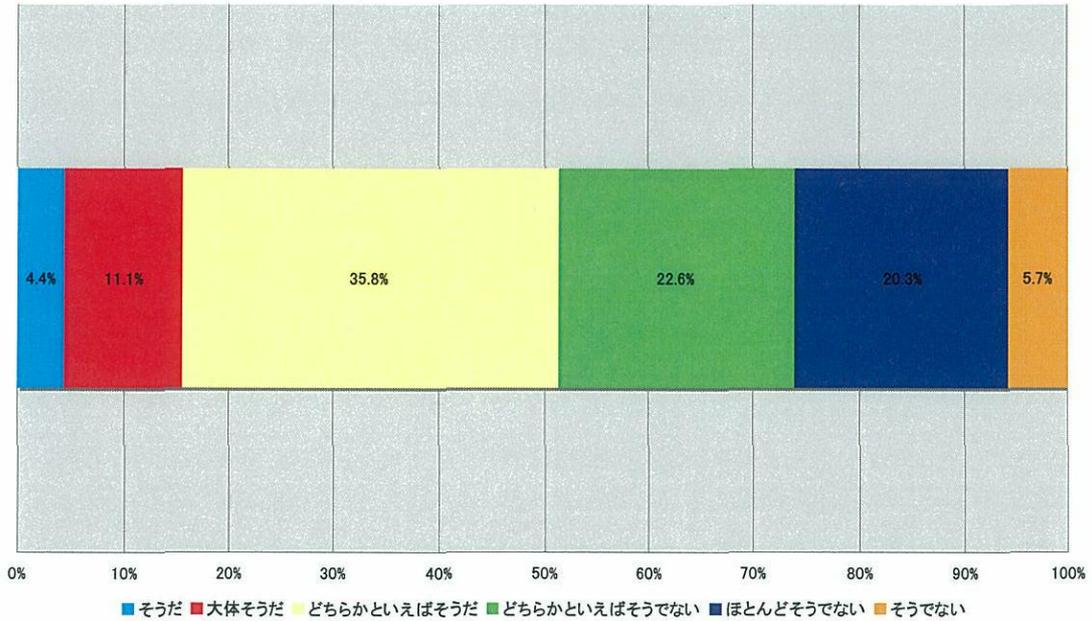
精神科研修は全人的医療の修得に役立ったかとの設問に対しては8割以上が効果を認めている。



(4) 自殺予防への効果

自殺予防については5割強が学べたと評価した。

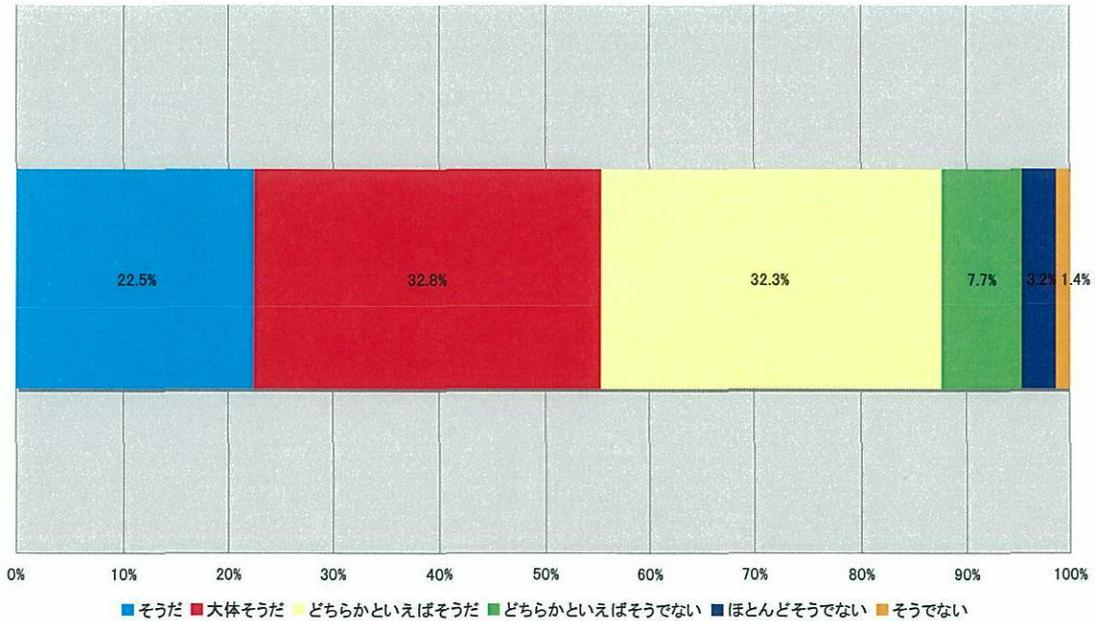
自殺予防について理解し、介入が出来るようになりましたかn=801



(5) 精神障害および精神症状への偏見除去

およそ9割近くが精神科研修によって精神障害および精神症状への偏見が除去・低減した。

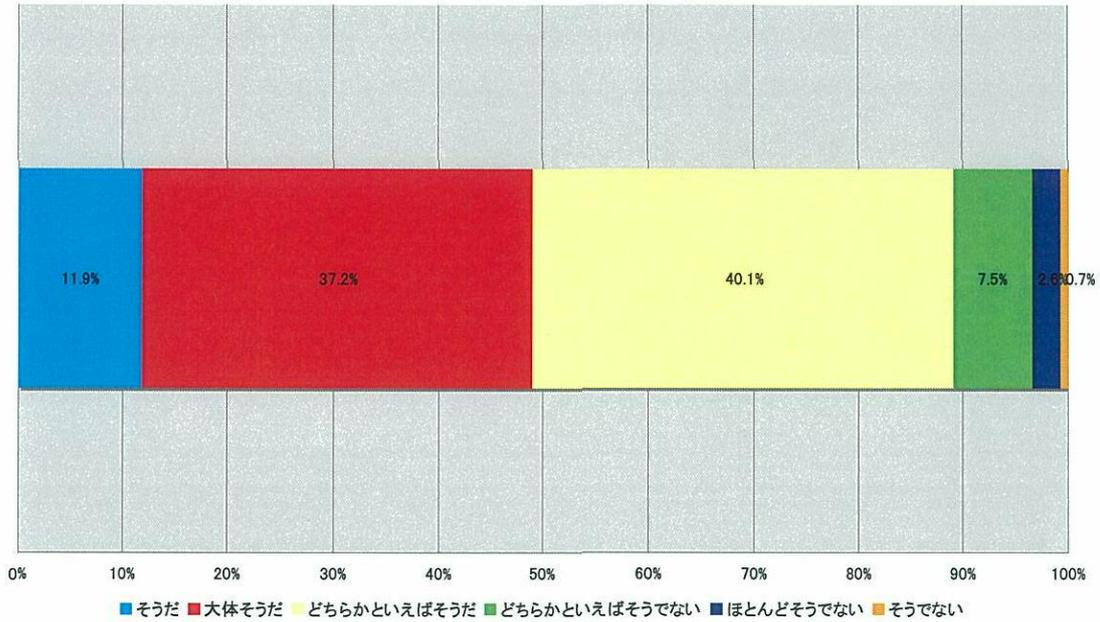
精神障害および精神症状の偏見をなくすことが大切だと改めて実感できましたかn=801



(6) 精神障害および精神障害者への正しい理解

9割近くが精神科研修によって精神障害や精神障害者への正しい理解が深まったと評価した。

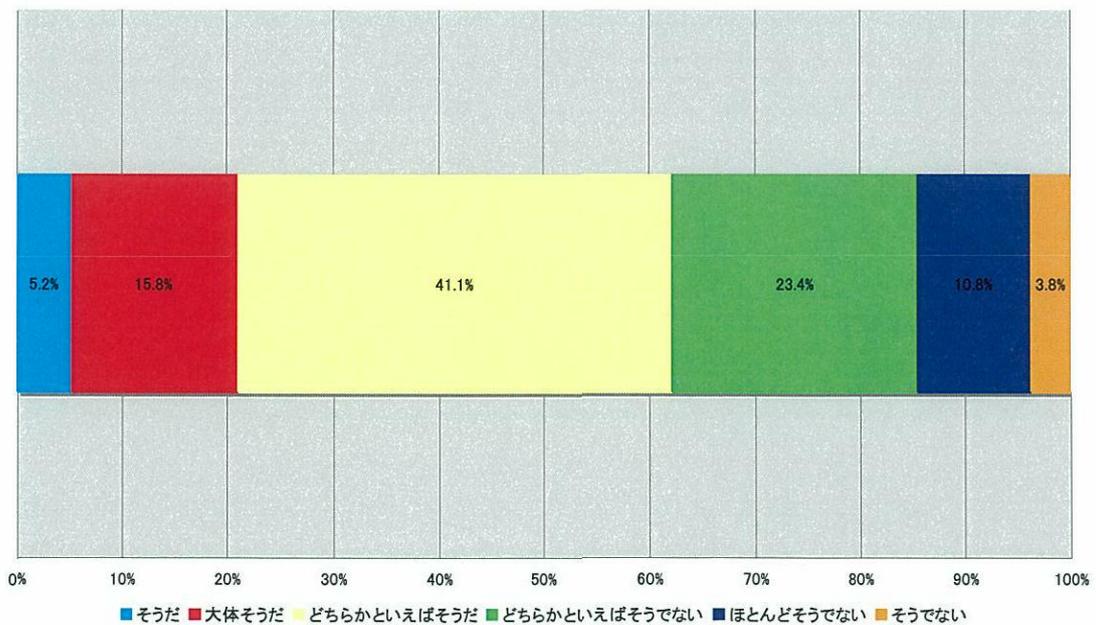
精神障害や精神障害者への正しい理解は深まりましたかn=801



(7) 専門科での精神障害者への対応

専門科で適切に診察できるかという設問については半数が可能と答えたが、自信のないものも半数に上った。

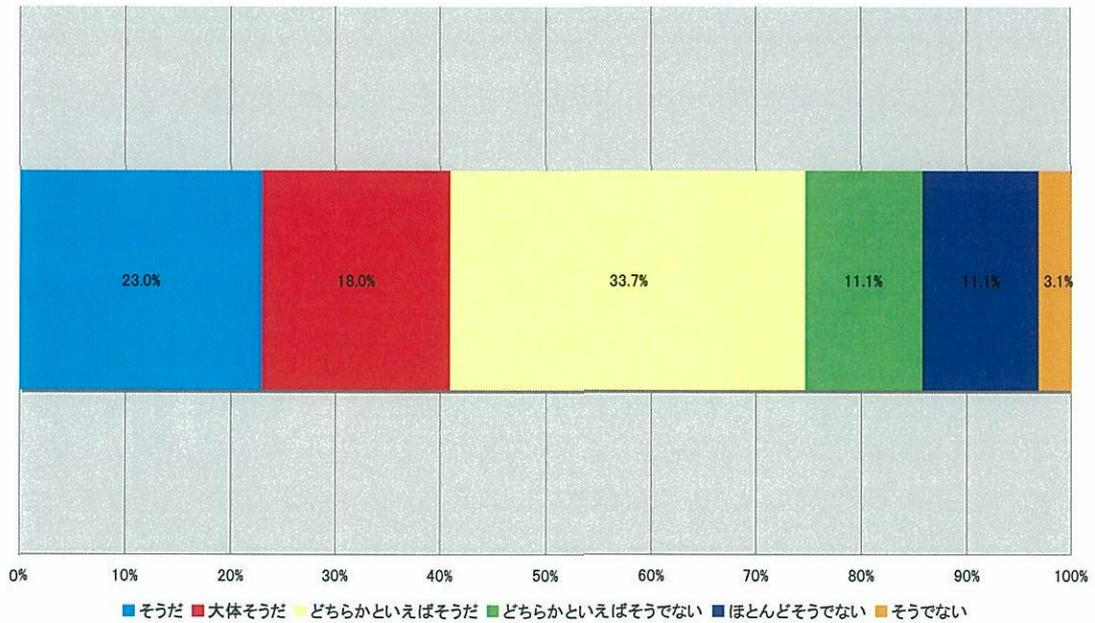
精神障害をもつ人があなたの専門科を受診したら適切に診察できそうですかn=796



(8) チーム医療・社会復帰活動・地域リハビリテーションの経験

チーム医療・社会復帰活動・地域リハビリテーションは7割が経験できた。

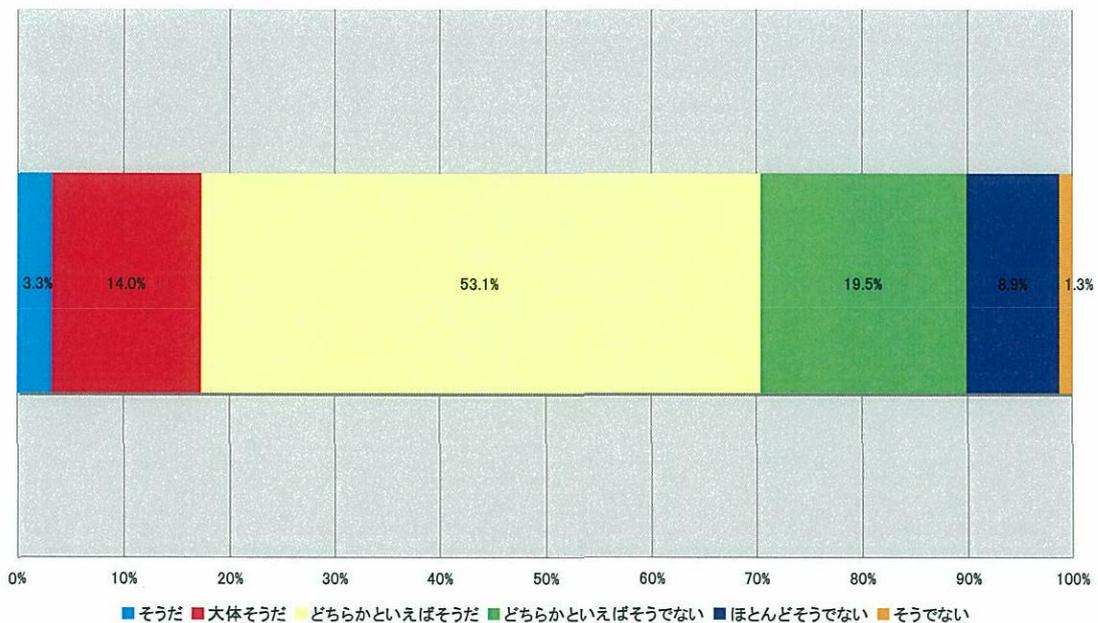
チーム医療・社会復帰活動・地域リハビリテーションの経験ができましたかn=801



(9) 身体疾患患者にみられる精神症状

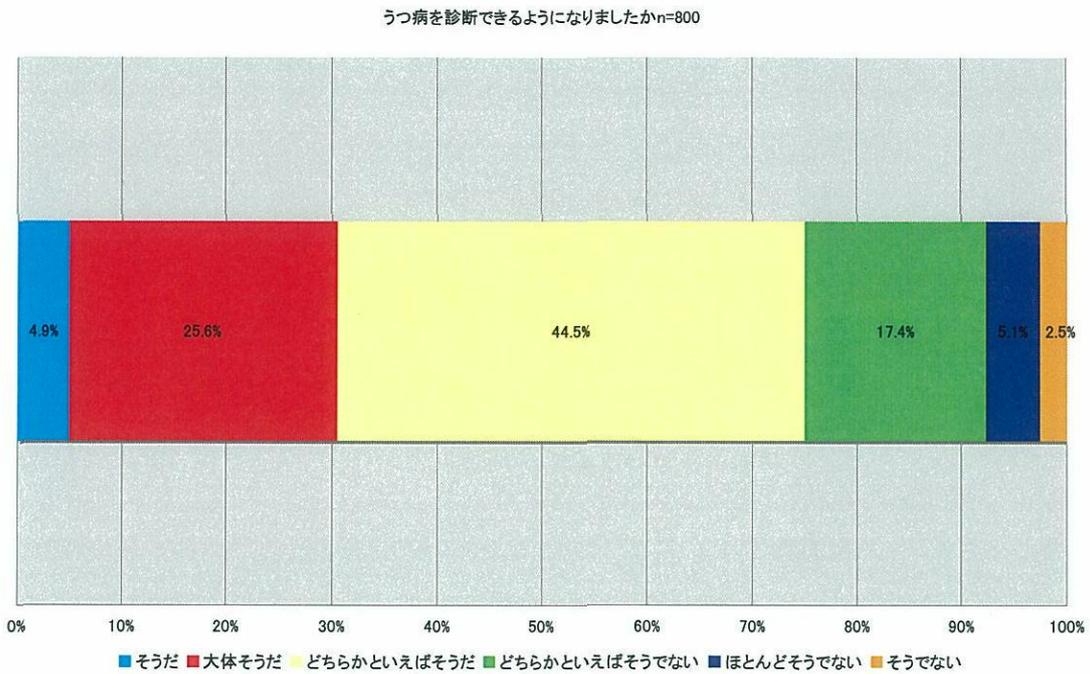
身体疾患患者の精神症状を見落とさないようになったと7割が評価した。

身体疾患患者の精神症状を見落とさないようになりましたかn=800



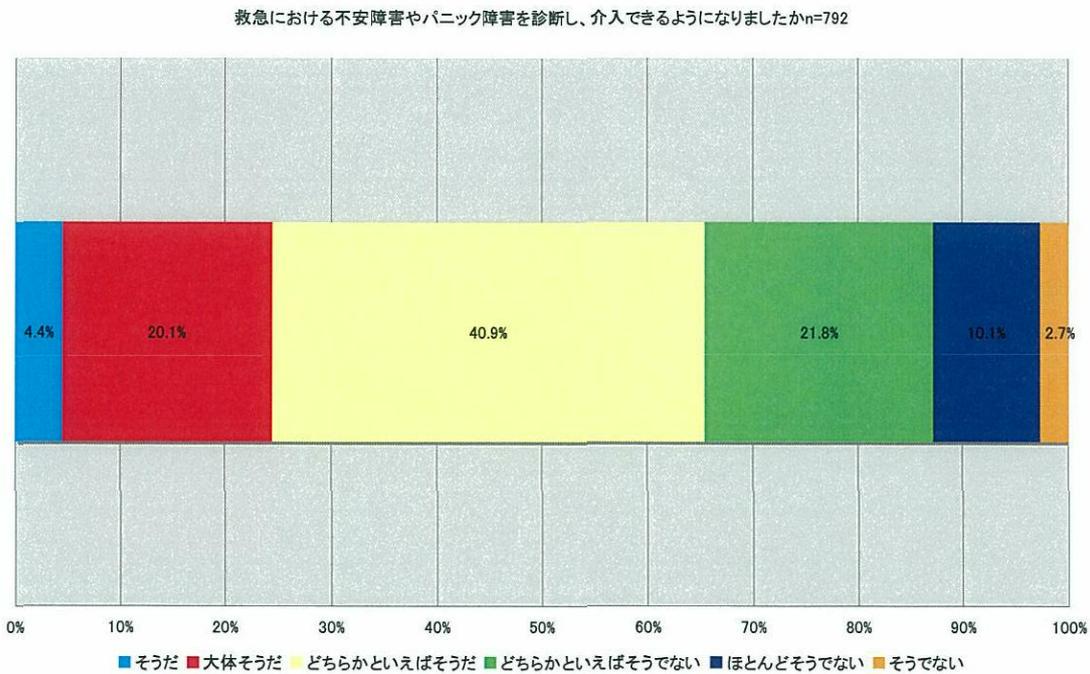
(10) うつ病の診断

75%がうつ病が診断できるようになったと評価した。



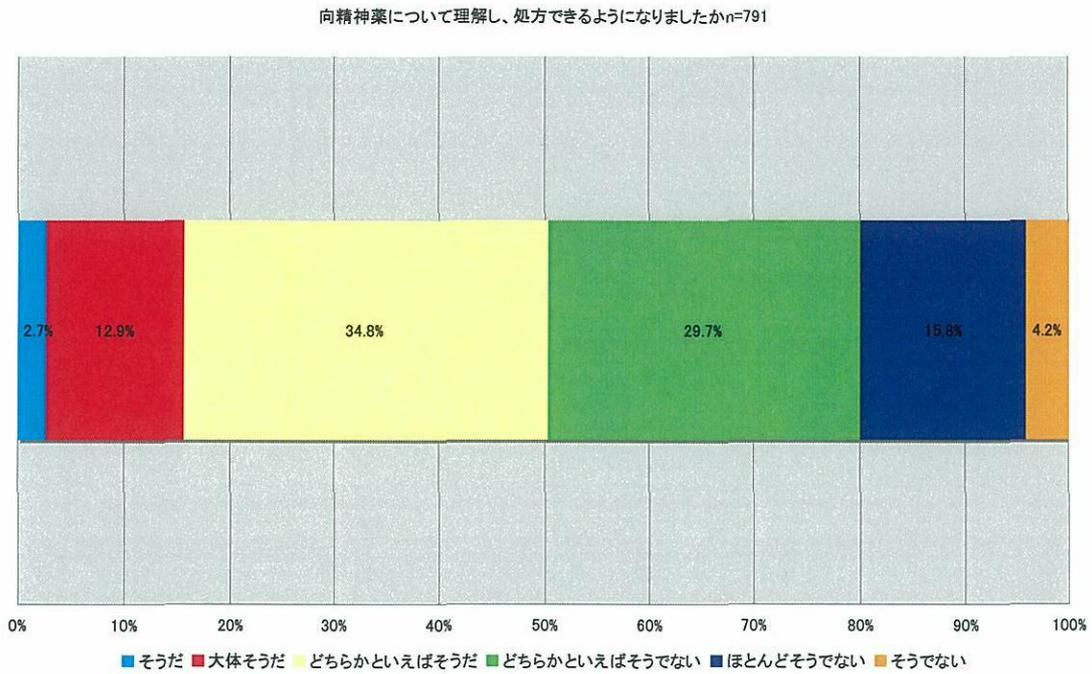
(11) 不安・パニック障害の診断と介入

救急場面で出会う不安・パニックの診断と介入については、65%が可能となった。



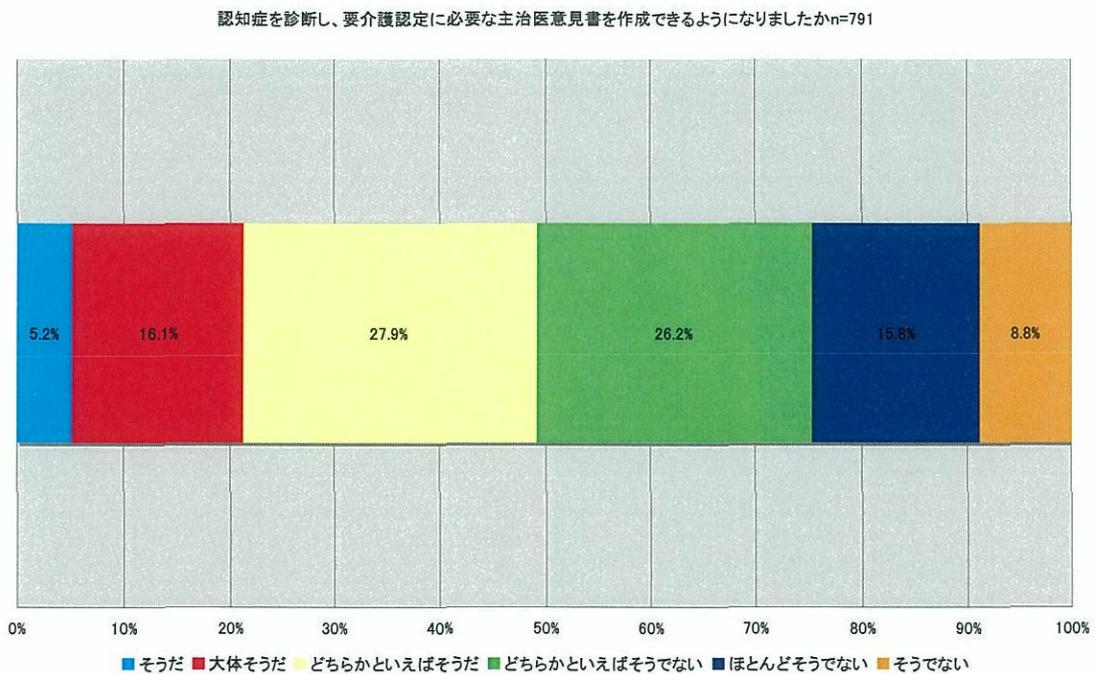
(12) 向精神薬の知識

およそ半数が向精神薬について理解し処方できるようになったと評価した。



(13) 認知症の診断

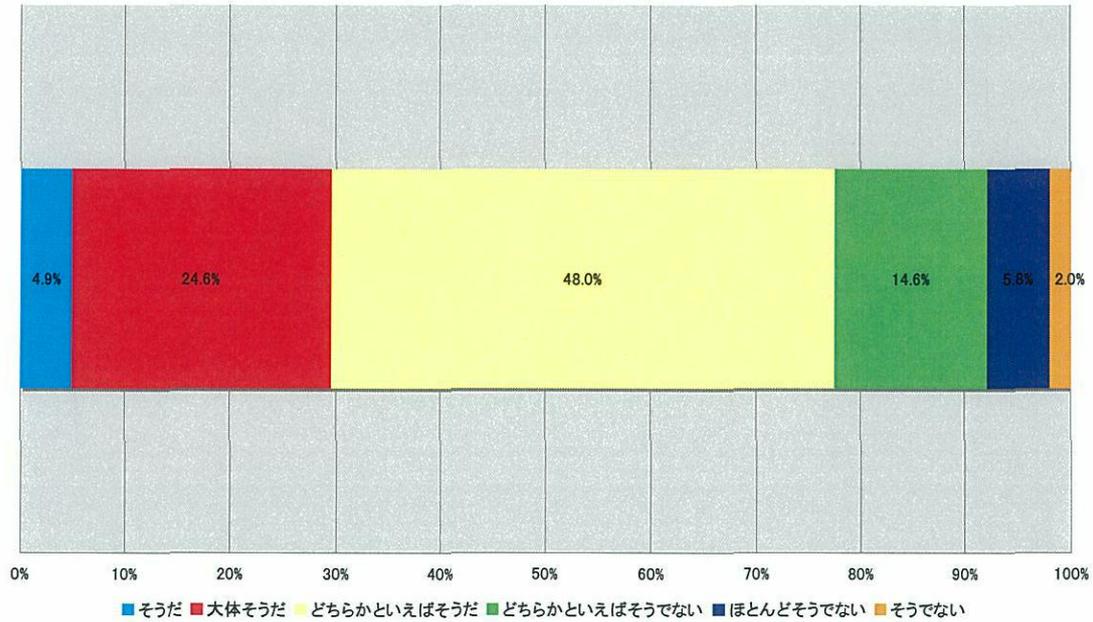
およそ半数弱が認知症の診断を行い、主治医意見書まで作成できるようになったと評価した。



(14) 患者・家族とのコミュニケーション

8割近くが患者・家族との望ましい関係を樹立できるようになったと評価した。

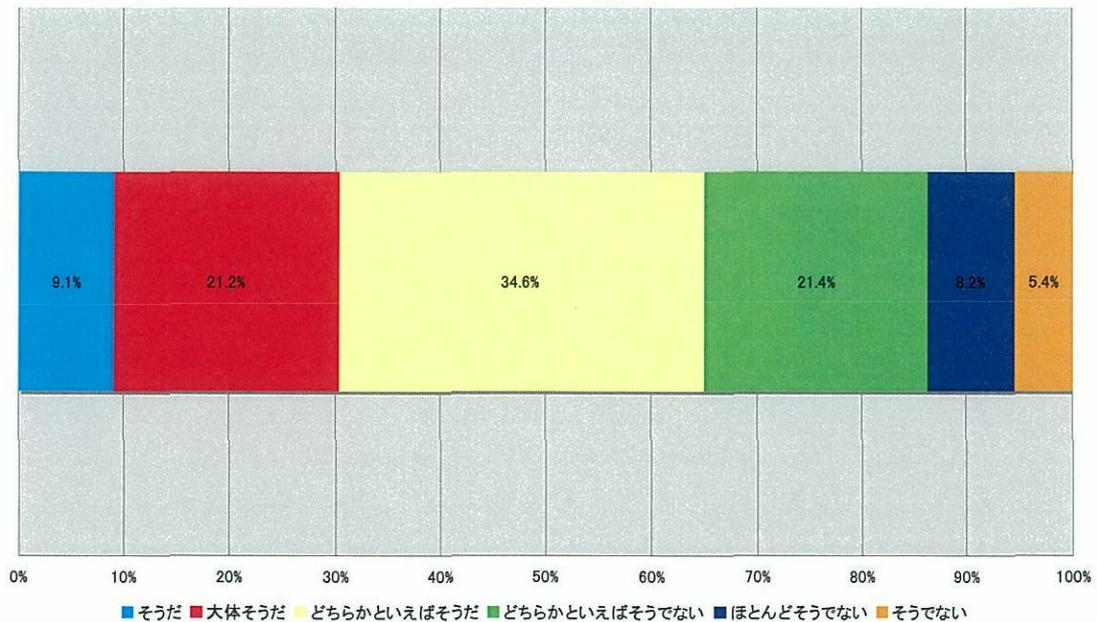
患者・家族と望ましい関係を樹立できるようになりましたかn=792



(15) 精神科研修体制

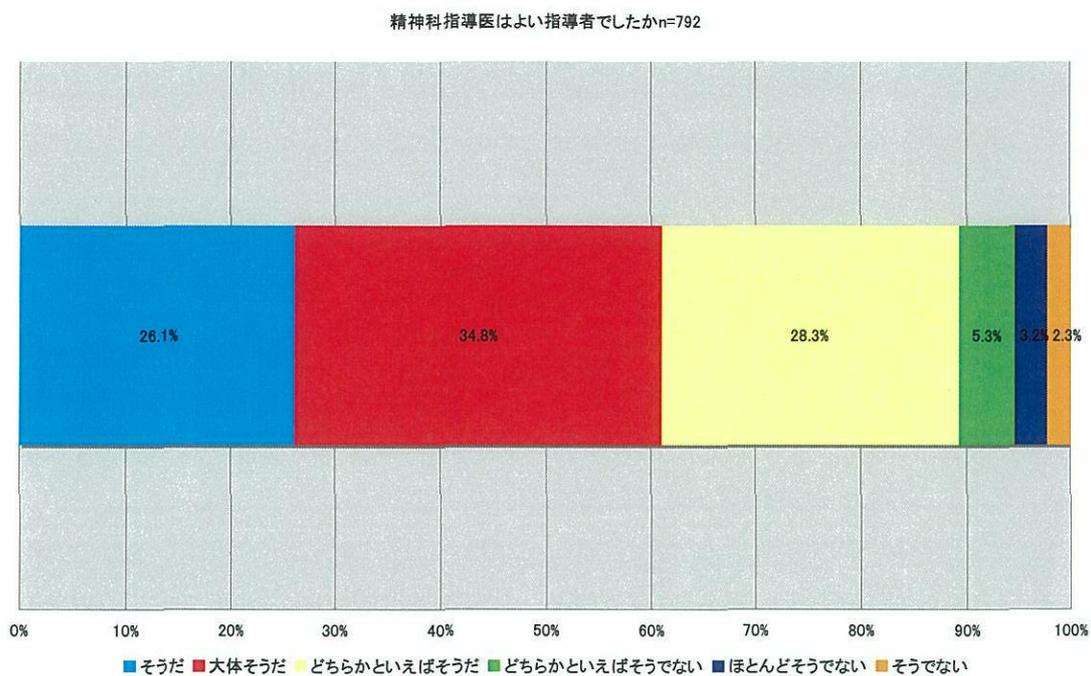
6割強が精神科研修体制が十分であったと評価した。

精神科研修体制は十分でしたかn=791



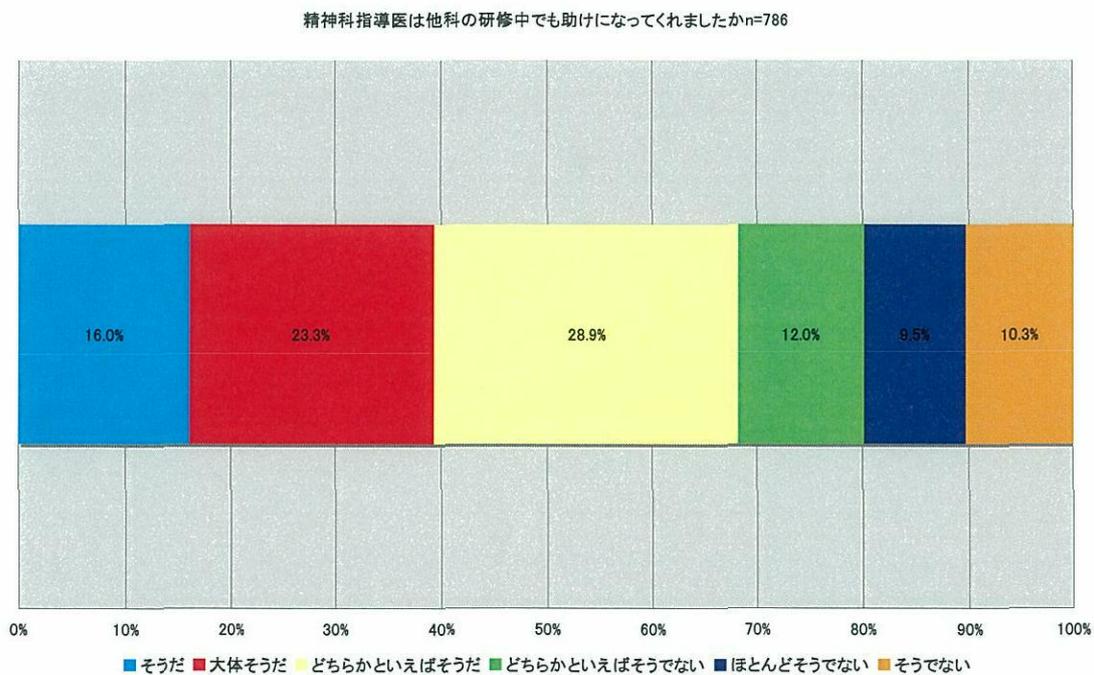
(16) 精神科指導医（精神科研修中の指導）

精神科研修中の精神科指導医については9割がよいと評価した。



(17) 精神科指導医（精神科研修以外のサポート）

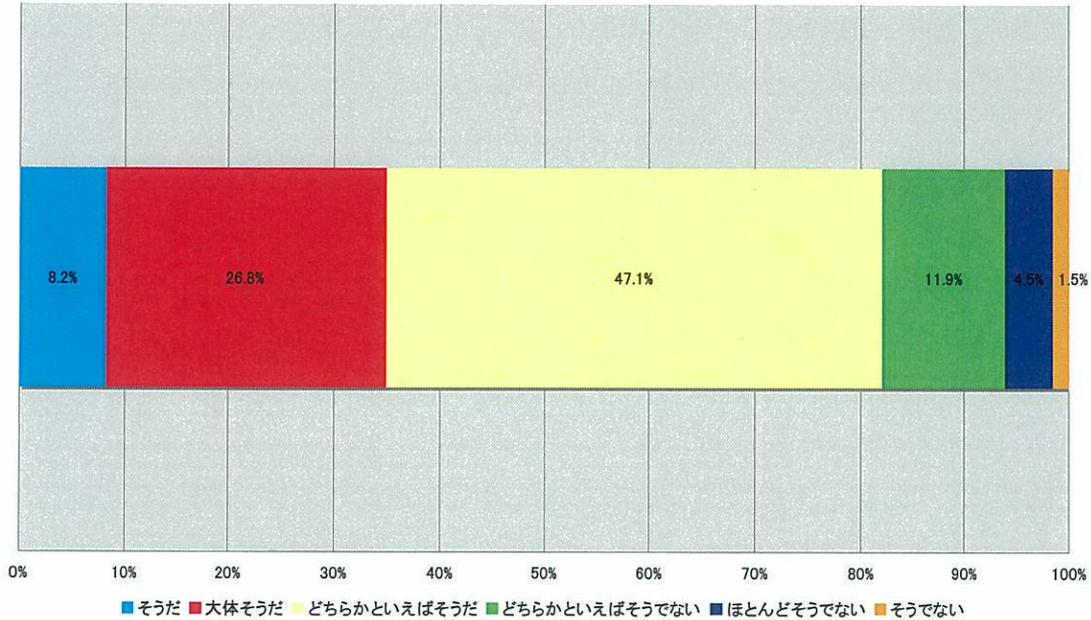
他科研修中でも7割近くが精神科指導医がサポートしてくれたと評価した。



(18) 患者の訴えへの真摯な対応

8割強が患者の訴えへ真摯に対応できるようになったと評価した。

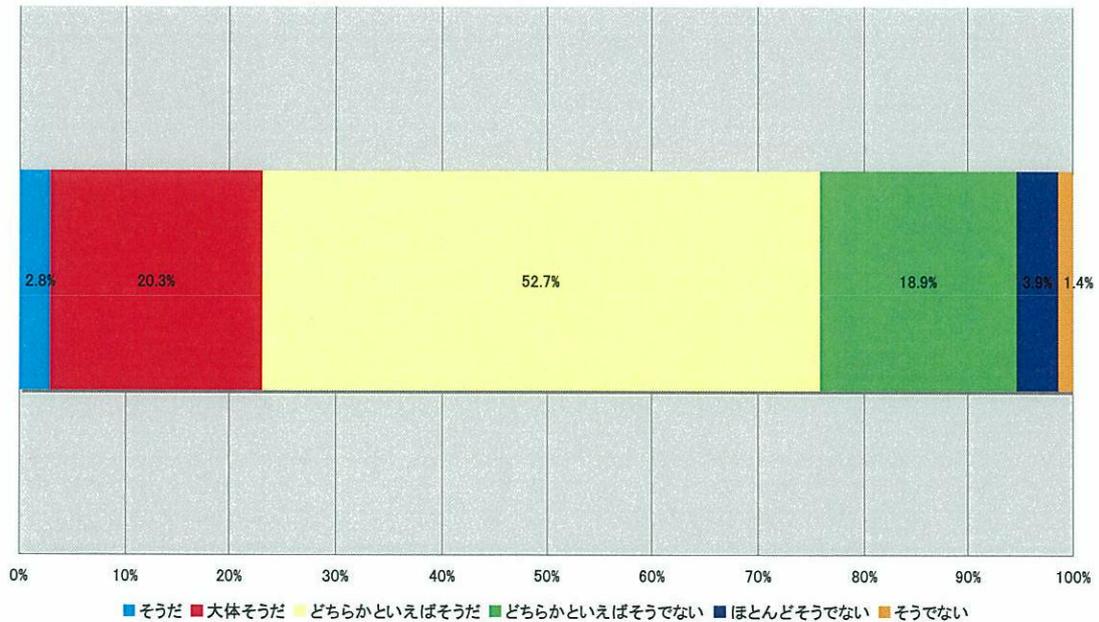
患者の訴えを邪険に扱わず、すべて受け止める習慣は身につきましたかn=792



(19) 患者の訴えを引き出す能力

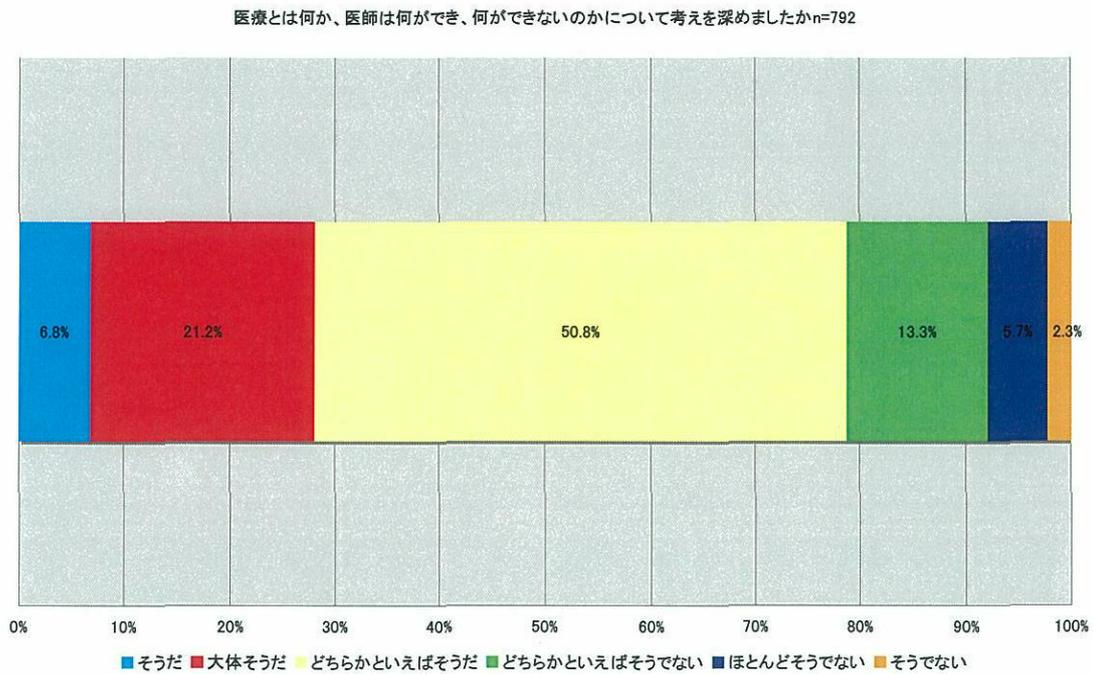
患者の訴えを引き出す能力は3/4が身についたと評価していた。

患者の訴えを引き出す能力は身につきましたかn=792



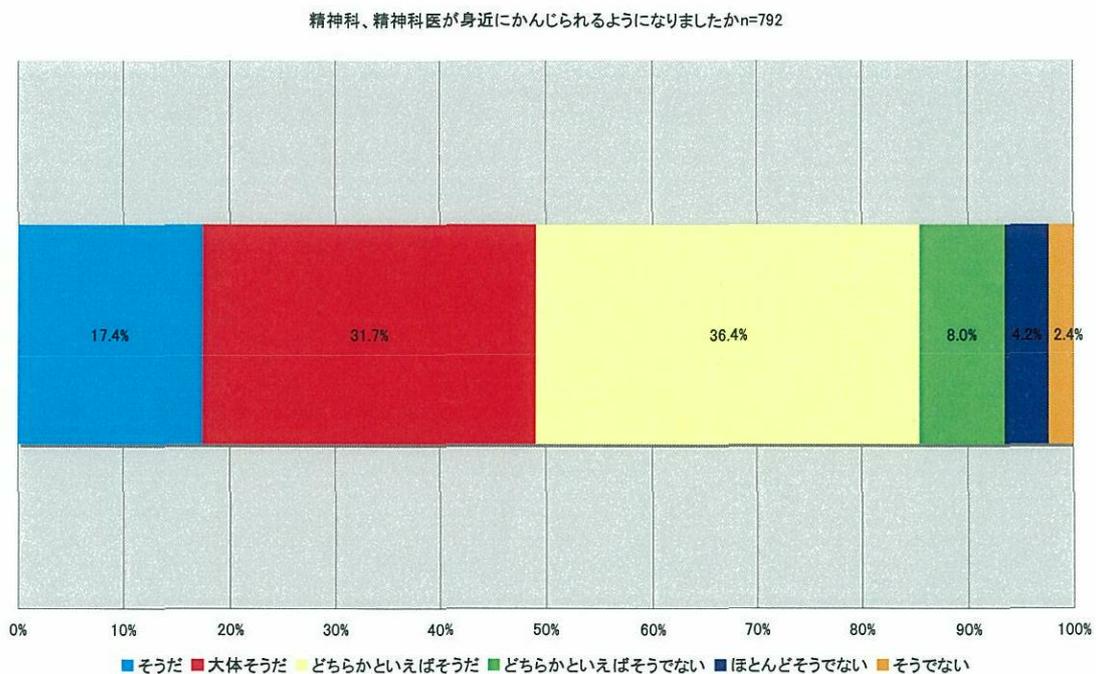
(20) 医療の本質と限界の理解

約8割が医療とは何か、医師が何ができ、何が出来ないのかについて理解を深めたと答えた。



(21) 精神科への理解

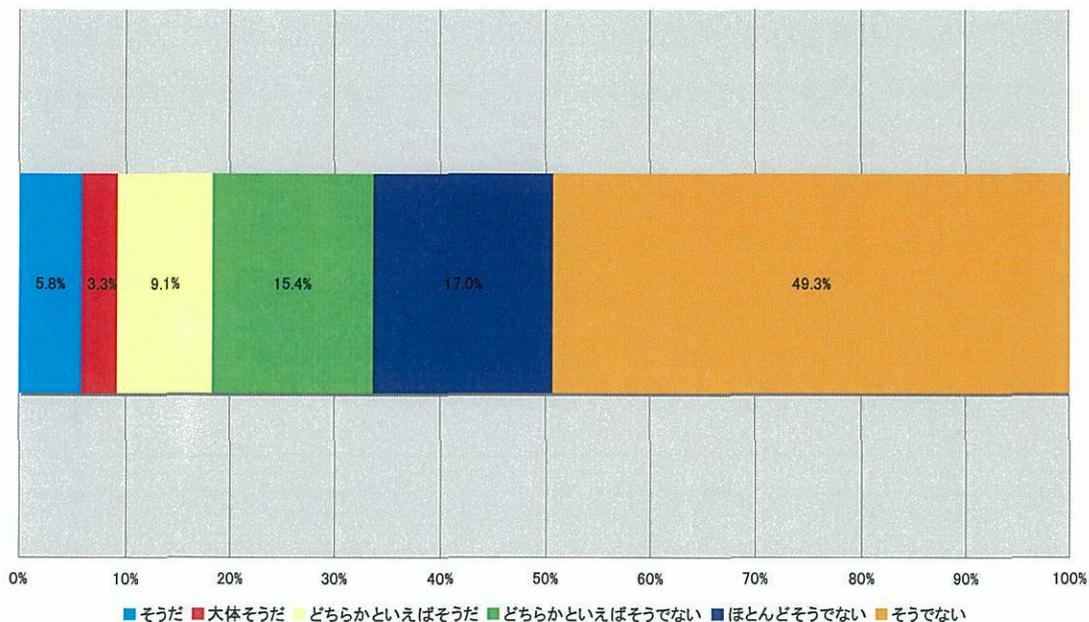
8割強が精神科、精神科医が身近にかんじられるようになったと評価した。



(22) 精神科志望

精神科志望を強めたものが、9%（「そうだ」と「大体そうだ」を合わせたもの）となった。

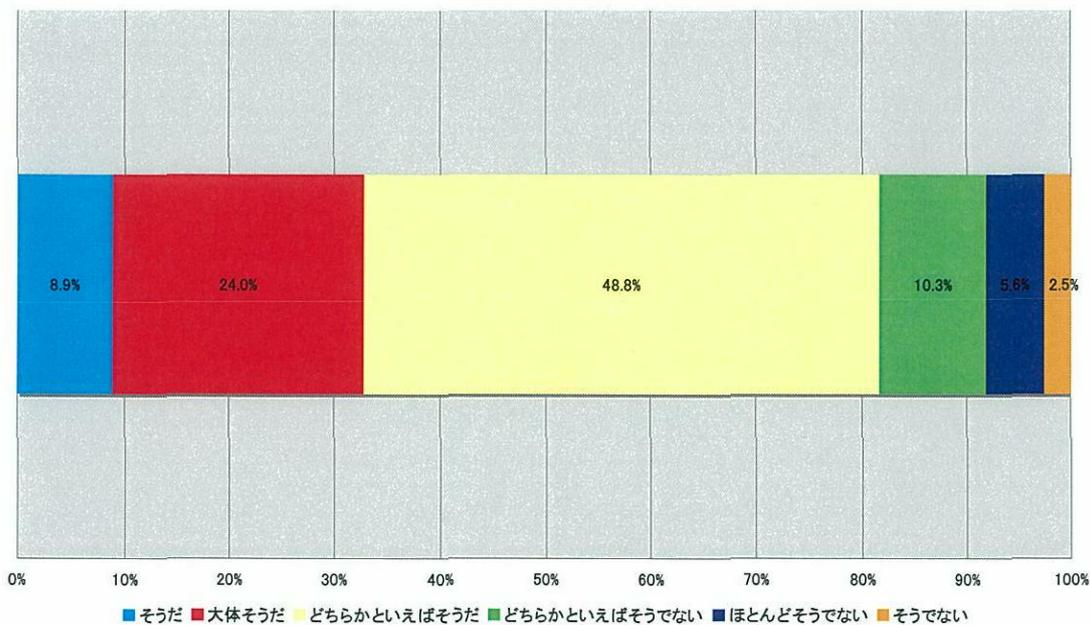
将来精神科に進もうと思うようになりましたかn=787



(23) コンサルテーション・リエゾン精神医学

8割がコンサルテーション・リエゾン精神医学を実践出来るようになったと評価した。

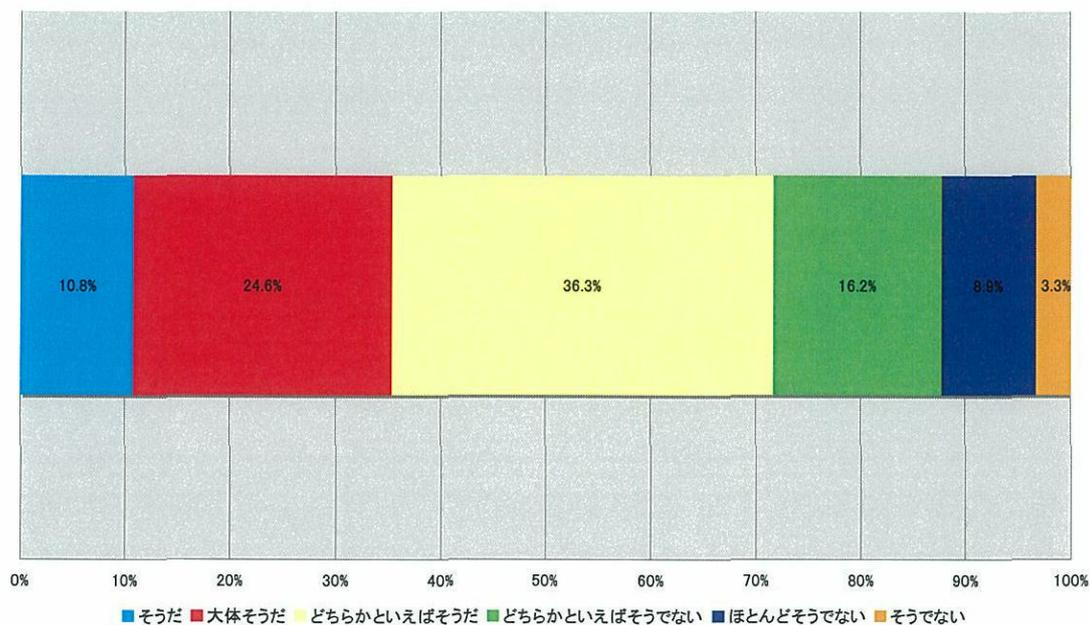
精神科に遅滞なくコンサルテーションし、連携して治療にあたるようになりましたかn=789



(24) 精神科医療への参画

7割が精神科医療への参画意識を有するようになった。

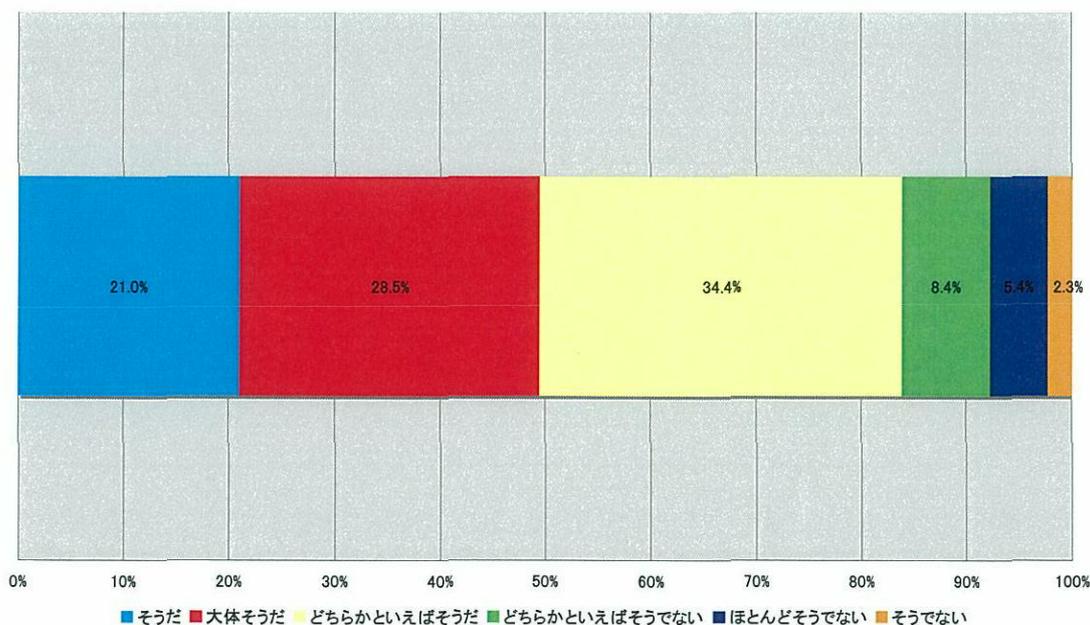
精神科医療の実際において、何らかの役割を担っている実感をもてるようになりましたかn=786



(25) 精神科研修の有用度

精神科研修の有用度を評価した者は全体の84%であった。

総じて精神科研修はあなたの役に立っていますかn=790



(26) 精神科研修の有用度に影響する因子 (自由記述)

精神科研修の有用度を高く評価するもののうち、最も多い意見は「偏見の除去」と「後期研修をふくむ専門科医療でも精神障害、精神症状に出会うから」という意見であった。不穏、せん妄、不安、不眠を主とするよく出会う病態への具体的対処を学びやすくなったという意見が多かった。うつの診断は出来ても自ら治療できるようにはならないという意見が複数あった。

有用度を制限する因子として最も多い意見は「研修期間の短さ」であった。

(27) 精神科研修と他科研修との差異 (自由記述)

「差異はない」という意見が多かった。「時間の流れが緩やか」という記載が多かった。「問診を中心としたコミュニケーションの重要性」や「生活史の重要性」など精神科臨床の専門性に着目した回答が多かった。「専門性が高すぎて見学に終わる場合が多かった」との声も複数あった。

(28) 精神科研修の満足度

100点満点で評価した精神科研修の満足度は平均 68.4、標準偏差 19.8、範囲 0-100、回答数 769 であった。

(29) 精神科研修の満足度に影響する因子 (自由記述)

精神科研修の満足度を高く評価するもののうち、最も多い意見は、「指導医がよい」というものであった。急性期から慢性期のリハビリテーションまで広く経験できた者も満足度が高かった。

満足度を制限する因子としては、再度「研修期間の短さ」が上げられたほか、指導の不足や経験の量やバラエティの不足が上げられた。

4 まとめ

1) 基本研修アンケート

817 の研修指定病院宛に 9495 通の回答用ハガキを発送し、399 通が回収された。無効 3 通を除いた回答者平成 16 年度初期研修医 396 名を対象とした。

- 回答者集団は厚生労働省発表の平成 16 年度初期研修医 7372 名の 5.4%にあたり、回答者の初期研修先の大学所属率 (44%) と後期研修専攻科の分布は厚生労働省発表の平成 17 年度「臨床研修に関する調査」による初期研修先の大学所属率 (46.5%)、希望する診療科の分布とほぼ一致する。したがって、回答者は平成 16 年度初期研修医を代表するものと考えられる。
- 「もっともよく学べた」と「比較的良好に学べた」と答えたものの割合の和 (選択率) はチーム医療で外科 (回答者の 68%) が高かったのを除き、内科が最も高かった (患者-医師関係 79%、問題対処能力 72%、安全管理 51%、症例提示 84%、医療の社会性 47%、医療面接 74%)。こ

これは主に研修期間の長さによると考えられる。

- 精神科は医療面接で32%と内科に次ぐ評価を得た。一方で、チーム医療で9%、問題対処能力7%、安全管理7%と各科に比べて低い評価を得た。これは、研修医に精神科領域での取り組みが理解されていないことを示す。

2) 精神科研修アンケート

327 の研修指定病院あてに 6053 通の A4 版 4 枚のアンケートを発送し、802 通が回収された。これらを対象とした。

- 回答者集団は前述の研修医の 10.9%にあたり、回答者の属性分布は先行する基本研修アンケート同様平成 16 年度初期研修医を代表するものと考えられる。
- 精神科研修はほとんどが 2 年目に 1 ヶ月 (72.4%) の研修を行っており、研修医の半数が精神科病院、2/3 が大学病院を含む総合病院での研修を経験していた。
- 精神科研修の達成目標のすべてで過半数の達成率を示し、多くの領域で高い達成率を示した。特に精神障害に対する偏見の除去や理解で高い達成率を示した。一方で自殺予防や向精神薬の使用、認知症の診断などは過半数にとどまった。
- 精神科指導体制、指導医に対する評価は高かった。
- 精神科研修の有用度は高く、84%が有用と評価した。特に偏見の除去と専門科で用いることのできる精神医学的知識を得たことが有用と評価の理由となっていた。一方で研修期間の短さが有用度を制限していた。
- 精神科研修の満足度は 68.4/100 点満点であった。指導医に対する高い評価が満足度と関連していた。

参考：基本研修アンケート（ハガキ）精神科研修アンケート（A3 両面 1 枚=A4 4 ページ）

このアンケートはよりよい初期研修のあり方を検討するためのものです。あなたの初期研修をふりかえって、以下の項目につき、もっともよく学べた研修領域に◎を、学べた研修領域に○をつけてください。

患者-医師関係

() 内科 () 外科 () 救急 () 産婦人科 () 小児科 () 精神科 ()
地域医療 () その他（具体的に：)

チーム医療

() 内科 () 外科 () 救急 () 産婦人科 () 小児科 () 精神科 ()
地域医療 () その他（具体的に：)

問題対応能力

() 内科 () 外科 () 救急 () 産婦人科 () 小児科 () 精神科 ()
地域医療 () その他（具体的に：)

安全管理

() 内科 () 外科 () 救急 () 産婦人科 () 小児科 () 精神科 ()
地域医療 () その他（具体的に：)

症例呈示

() 内科 () 外科 () 救急 () 産婦人科 () 小児科 () 精神科 ()
地域医療 () その他（具体的に：)

医療の社会性

() 内科 () 外科 () 救急 () 産婦人科 () 小児科 () 精神科 ()
地域医療 () その他（具体的に：)

医療面接

() 内科 () 外科 () 救急 () 産婦人科 () 小児科 () 精神科 ()
地域医療 () その他（具体的に：)

あなた自身のことについておうかがいします。

主たる初期研修先は () 大学病院（国公立）() 大学病院（私立）() 国立病院機構 ()
労災病院その他の国立病院 () 自治体立病院 () 準公立病院（日赤・済生会・年金・保険・
その他の組合、連合会）() 私立病院（公益法人、社会福祉法人、医療生協含む）() その
他（具体的に：)

現在の後期研修先は (() 大学病院（国公立）() 大学病院（私立）() 国立病院機構 ()
労災病院その他の国立病院 () 自治体立病院 () 準公立病院（日赤・済生会・年金・保険・
その他の組合、連合会）() 私立病院（公益法人、社会福祉法人、医療生協含む）() その
他（具体的に：)

現在の後期研修専攻科は () 科 その他（具体的に：)

ありがとうございました。投函締め切り：6月30日

このアンケートはあなたが受けた精神科研修について検討するためのものです。以下の項目につき、もっともよくあてはまるところに○をつけてください

例) 精神科研修を楽しめましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	③ どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

1) 精神科研修は全人的医療の修得に役立ちましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

2) 自殺予防について理解し、介入が出来るようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

3) 精神障害および精神症状に関する偏見をなくすことが大切だと改めて実感できましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

4) 精神障害や精神障害者に対する正しい理解は深まりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

5) 精神障害をもつ人があなたの専門科を受診したら適切に診察できそうですか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

6) チーム医療・社会復帰活動・地域リハビリテーションの経験ができましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

7) 身体疾患患者の精神症状を見落とさないようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

8) うつ病を診断できるようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

9) 救急における不安障害やパニック障害を診断し、介入できるようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

10) 向精神薬について理解し、処方できるようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

11) 認知症を診断し、要介護認定に必要な主治医意見書を作成できるようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

12) 患者・家族と望ましい関係を樹立できるようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

13) 精神科研修体制は十分でしたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

14) 精神科指導医はよい指導者でしたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

15) 精神科指導医は他科の研修中でも助けになってくれましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

16) 患者の訴えを邪険に扱わず、すべて受け止める習慣は身につきましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

17) 患者の訴えを引き出す能力は身につきましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

18) 医療とは何か、医師は何かでき、何ができないのかについて考えを深めましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

19) 精神科、精神科医が身近に感じられるようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえばそうだ	4 どちらかといえばそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

裏へ続く

20) 将来精神科に進もうと思うようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえはそうだ	4 どちらかといえはそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

21) 精神科に遅滞なくコンサルテーションし、連携して治療にあたるようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえはそうだ	4 どちらかといえはそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

22) 精神科医療の実際において、何らかの役割を担っている実感をもてるようになりましたか

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえはそうだ	4 どちらかといえはそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

23) 総じて精神科研修はあなたの役に立っていますか？

1 そうだ	2 大体そうだ	3 どちらかといえはそうだ	4 どちらかといえはそうでない	5 ほとんどそうでない	6 そうでない
-------	---------	---------------	-----------------	-------------	---------

24) それはどうしてですか？

25) 精神科研修は他科の研修とどのような違いがありましたか？

26) 総じて精神科研修の満足度は100点満点中の何点ですか

() 点

27) それはどうしてですか？

以下はあなたに関する質問です

A) あなたの初期研修の管理型病院はどこですか（複数ある場合は主たるものを一つ選ぶ）

大学病院（国公立） 大学病院（私立） 国立病院機構 労災病院その他の国立病院 自治体立病院 準公立病院（日赤・済生会・年金・保険・その他の組合、連合会） 私立病院（公益法人、社会福祉法人、医療生協含む） その他（具体的に： _____）

B) あなたの精神科研修はどこで行われましたか（複数選択可）

精神科病院 大学病院 精神科病床のない総合病院 精神科病床のある総合病院 精神科診療所 その他（具体的に： _____）

C) あなたの精神科研修期間は全体で何週間でしたか、また1年目でしたか、2年目でしたか

4週間（一ヶ月） 6週間 8週間（二ヶ月） それ以上（具体的に： _____）
 1年目 2年目

D) 現在のあなたの所属する後期研修先はどこですか（複数ある場合は主たるものを一つ選ぶ）

大学病院（国公立） 大学病院（私立） 国立病院機構 労災病院その他の国立病院 自治体立病院 準公立病院（日赤・済生会・年金・保険・その他の組合、連合会） 私立病院（公益法人、社会福祉法人、医療生協含む） その他（具体的に： _____）

E) 現在のあなたの専攻科は

（ _____ ）科

ありがとうございました。

封筒に入れて10月末日までに投函してください。

精神科七者懇談会卒後研修委員会